2020年度　看護部教育計画

教育目的

病院・看護部の基本理念に基づき専門職として看護・介護者の育成を行い患者個々のニーズに合った質の高い看護サービスを提供する。

教育目標

1. 病院、組織、医療チームのあり方を理解し、実践できる人材を育成する。
2. 患者様の人権を尊重し、看護実践力の向上を図ることにより、患者様に最善の看護が提供できる看護・介護職員を育成する。
3. 医療チームの一員として看護の専門性を発揮し、あらゆる看護場面に対応できる能力を身につける。
4. 研究活動や研修会を通して自己啓発をする。

区分	カテゴリー	対象	到達目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎教育	実務Ⅰ	卒後1年目	看護師としての看護を確立できる 1. 専門職業人としての自覚を持ち、組織の一員としての行動がとれる。 2. 自立した看護実践を行う為の知識・技術を身につける事ができる。 3. 安全で確実な看護を実践できる。 4. 職場環境に適応し、より良い人間関係を築く事ができる。 5. 看護チームの一員としての自覚を持ち、積極的に看護に取り組むことができる。 6. チームメンバーとしての職責をはたすために必要な能力を獲得できる。	オリエンテーション（集合） 4/1～4/4	院外研修 ・新人看護職員研修 5/14～16	院外研修 ・新社会人向け ビジネス基礎研修	3ヶ月フォローアップ ・他施設（湯河原胃腸病院）見学			6ヶ月フォローアップ					12ヶ月フォローアップ
				新人看護職員チェックリストに準じ、技術指導（各部署）											
							指導者会議（3ヶ月後）			指導者会議（6ヶ月後）					指導者会議（12ヶ月後）
	実務Ⅱ	卒後2年目	受け持ち看護師として自立できる 1. 受け持ち看護師としての自覚を持ち、個別性を捉えた看護実践ができる。 2. 後輩・学生にたいして基本技術の助言ができる。 3. チームメンバーとしての職務をはたすために必要な能力を獲得できる。 4. メンバーシップが発揮できる。	チームリーダーの役割 プライマリーナースの役割						看護記録の記載について（FCの理解）			医療安全 「インシデントの傾向と分析」		
	実務Ⅲ	卒後3年目	チームリーダーとしての基礎を確立できる 1. 受け持ち看護師としての看護問題を明確にし解決に向けて実践できる。 2. 後輩・学生にたいして指導的役割を取る事ができる。 3. リーダーシップとしての役割を認識しリーダーシップが発揮できる。 4. チームメンバーと円滑な人間関係を築く事ができる。			リーダーシップ研修									
現任教育	看護研究	研究メンバー	1. 看護研究について理解する。 2. 看護の事象から生じる問題を研究的視点で捉る事ができる。 3. 解決したい問題を科学的・理論的に考察で論証する事ができる。 4. 文献の活用ができる。 5. 看護研究のプロセスと成果を通して知識を深める事ができる。 6. 看護研究の成果後実践場面で活用できる。		看護研究① 計画書作成 看護研究② 調査の実施 看護研究③ 論文作成と発表						研究発表会		看護研究① 計画書作成 看護研究② 調査の実施 看護研究③ 論文作成と発表		
	テーマ別研修	全職員（看護師）	1. 各テーマ別における看護の専門性を理解し質の高い看護が提供できる。			医事課研修会		接遇研修			倫理研修 （看護介護倫理）				
	トピックスⅠ ・医療安全 ・感染管理	全職員	1. 社会の動向に沿った質の高い看護サービスが提供できる。 2. 看護・介護に必要な専門知識を深め実践に役立てる事ができる。 3. 医療・看護の動向を知り、視野を広げる事ができる。	人工呼吸器講習		手洗い講習	医療安全研修	感染管理研修	伝達講習会				伝達講習会		
	トピックスⅡ	応募者 中学生 高校生など	1. 地域の中学・高校生を対象に実際の看護の場で体験を通し看護する事や人の命について理解関心を深める事ができる。 2. 院内見学及び看護ケアや患者様との会話などの体験を通し看護師や患者様との交流を深める。				一日看護体験 （看護協会協賛）				一日看護体験				一日看護体験
	臨地実習 指導者研修	実務Ⅳ （4～5年目）	看護活動のリーダーとしての基礎を確立できる 1. 医療チームにおける自己の役割が認識できる。 2. 指導者としての職責を果たすために必要なスキルを習得する。 3. 職場目標を達成するためのより良い看護が実践できる。 4. 日々の業務の中で効率的な運営を図る事ができる。 5. 業務上発生する問題の解決に向け上司、管理者へ働きかける事ができる。 6. 円滑な人間関係を図りながらチームメンバーに教育的に関わる事ができる。 7. 看護実践の役割りモデルとしての職責を自覚し自己の成長を図るために課題を明確にできる。	院外研修参加 ・臨地実習指導者											
管理教育	管理研修Ⅰ	主任	1. 看護師長と共に目標設定ができる。 2. 看護師長を補佐し目標達成するための実践が展開できる。 3. 質の保証に向けた看護ができる。 4. 問題を把握・分析・解決に向けて主体的に取組む事ができる。 5. キャリア開発実現に向けた教育・研修が実践できる。 6. 主任看護師としての役割遂行状況と成果を評価できる。 7. 病棟の実践責任者としての職務を自覚し自己の成長を図る為の課題を明確にできる。	院外研修参加											
	管理研修Ⅱ	師長	1. 看護部の方針と目標から病棟が目指す目標を設定できる。 2. 目標を達成するために組織的・効率的なマネジメントが実践できる。 3. 質の保証に向けた看護ができる。 4. 問題を把握・分析・解決に向けて主体的に取組む事ができる。 5. キャリア開発実現に向けた教育・研修が実践できる。 6. 看護師長として役割遂行と成果を客観的に評価できる。 7. 病棟の責任者としての職務を自覚し自己の成長を図る為の課題や目標を明確にできる。	院外研修参加		看護協会総会参加		学会参加							
介護	介護研修	全介護職員	1. 業務を遂行する上で必要な基本的な知識、技術、態度を身につけ安全で確実な介護業務を実践できる。 2. 看護チームの一員としての自覚を持ちメンバーシップを発揮できる。			院内研修（光洋） ・オムツ講習 院内研修（実践編） ・オムツ講習 一日介護体験		院内研修 ・急変時対応	看護補助業務従事者研修（仮）	院内研修 ・エンゼルケア	一日介護体験				一日介護体験